

# マスタービュー プラス

8ポート KVM スイッチ



ユーザーマニュアル

---

CS-9138

## 同梱品

次のものが同梱されているかどうかご確認ください。

CS-9138 KVM スイッチ × 1 台

AC アダプタ × 1

ラックマウント取り付け金具 × 2 (ネジも含まれています)

ユーザーマニュアル × 1 冊

万が一欠品もしくは破損が発見された場合は、お買い上げになった販売店にご連絡してください。

接続するデバイスにダメージをあたえたりしないように、ご使用前に本ユーザーマニュアルをよくお読みになってから正しい手順に従って、インストールと使用を行ってください。

©Copyright2000 ATEN™ International Co.,LTD.

製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

デザイン及び仕様については、改良のため、予告なしに変更することがあります。

## 目次

本製品の概要	1
特徴	2
必要ハードウェア環境	3
コンソール側	3
パソコン側	3
ケーブル	3
はじめに	4
フロントパネル	4
リアパネル	5
本製品の導入手順	6
導入する前に	6
1台での導入	6
2段階（カスケード）での導入	7
3段階（カスケード）での導入	8
操作方法	10
ホットプラグ	10
電源オン/オフ	11
ポートセレクト	12
ポート ID 番号について	13
ID 番号の見方	13
ポートキーの例	14
ホットキーリスト	14
OSD の使い方	15
OSD の概要	15
OSD ナビゲーション	16
OSD のホットキーナビゲーション	16
OSD メインメニュー見出し	17
ファンクションキー	17
メーカー初期設定	22
OSD セキュリティー	22
付録	23
マスタービュー：パソコン接続リスト	23
スタッキングとラックマウント	24
トラブルシューティング	25
仕様	26
ラジオとテレビの受信障害について	27
製品保証規定	27
製品保証書	28

## 本製品の概要

マスタービューCS-9138 KVM スイッチは 1 組のコンソール( キーボード、モニター、マウス )で多数のパソコンにアクセスすることができるようにするコントロールユニットです。マスタービューが開発される前は、複数台のパソコンを 1 組のコンソールで操作することができる唯一の方法は、複雑でコストがかかるネットワークシステムの導入しかありませんでした。マスタービューCS-9138 を導入すれば、低コストで更にとても簡単に 2 台以上のパソコンを操作できるようにします。

1 台のマスタービューCS-9138 は 8 台までのパソコンをコントロールすることができます。CS-9138 は 3 段階までカスケード接続し、73 台のマスタービューKVM スイッチを導入してたった 1 組のコンソールを使用し、512 台までのパソコンをコントロールすることができます。

セットアップは簡単でスピーディです。ケーブルをそれぞれの適切なポートに接続します。ソフトウェアのインストールは不要で、プログラムの複雑なインストールも必要なく、また互換性の問題に悩ませられる必要がありません。マスタービューCS-9138 はほとんどのキーボードのエミュレーションが可能なので、どんな DOS/V 環境でも動作でき、直接 CS-9138 のキーボードコネクタに差し込んで、簡単に操作が可能です。

マスタービューCS-9138 は、3 通りの便利な方法で接続されているシステムを切換えることができます : ( 1 ) 製品のフロントパネルにあるプッシュボタンで切換える方法、( 2 ) キーボードからのホットキー組み合わせで切換える方法、( 3 ) OSD ( オンスクリーンディスプレイ ) のメニューから選択し切換える方法があります。またクイックビュースキャンの特筆すべき特長であるオートスキャン機能や、接続されたアクティブな操作可能なパソコンを 1 台ずつ監視する機能も装備しています。

マスタービューCS-9138 の導入ほど、時間とお金の節約になる方法はないです。1 組のコンソールですべての接続されたパソコンにアクセスし操作できることで、マスタービューCS-9138 は ( 1 ) それぞれのパソコンにキーボード、モニター、マウスを購入する費用を削減することができる、( 2 ) 余分なスペースを取らず、スペースの有効利用が可能、( 3 ) 省電力、( 4 ) 絶えず 1 台のパソコンからもう 1 台のパソコンに動くという無駄で不便な労力を必要としなくなります。

## 特長

3段階までカスケード接続可能：1組のコンソールで最大 512 台のパソコンまでコントロール可能

ソフトウェアインストール不要：フロントパネルのスイッチ、ホットキー、OSD（オンスクリーンディスプレイ）によるパソコン選択可能

クイックビュースキンの特長である、選択したパソコンの監視可能

PS/2 とシリアルマウス（オプションのアダプタ使用時）がエミュレーションによりエラーなしでパソコンの起動が可能

コンソールの PS/2 マウスですべての接続されているパソコンをコントロール可能：シリアルマウスでも可能（オプションのアダプタ使用時）

PS/2 マウス完全対応：マイクロソフトの Intellimouse Explorer とロジクールのファーストマウス+に対応\*

SVGA、VGA、マルチシンクモニターに対応

高品質解像度；1920×1440；DDC；DDC2；DDC2B

ホットプラグ対応：電源をオフすることなく、メンテナンス時にパソコンの追加・取外しが可能

LED 表示により、簡単に接続状態の監視が可能

ハイクオリティな CS シリーズのオリジナルケーブルに対応

（弊社製品の 2L-1001P/C [ 1.8m ] 2L-1003P/C [ 3M ] を推奨）

19 インチシステムラックマウント可能

\*1.PS/2 はホイール付きマウスに対応

**ご注意：**4 ボタン以上のボタンを備えたマウスやホイール付きマウス、特殊な拡張キーを備えたキーボードでは正常に動作しないことがあります。

2.ロジクールマウスウェアのデバイス変更は、マイクロソフトの NT システムでは作動しません。

## 必要ハードウェア環境

### コンソール側

使用するパソコンの解像度に適した、パソコン用モニター。

PS/2 マウス

PS/2 キーボード

### パソコン側

下記の設備はシステムに接続した、それぞれのパソコンにインストールされていなければなりません：

VGA カードを備えていること。

ミニ DIN 6 ピン (PS/2 スタイル) または DB-9 ピン (シリアルスタイル、オプションでアダプタを使用時) のマウスポートを備えていること。

4 番目のピンが +5V DC、3 番目のピンがグラウンドのミニ DIN6 ピン (PS/2 スタイル) のキーボードポートを備えているか、または 5 番目のピンが +5V DC、4 番目のピンがグラウンドの AT キーボード用 DIN 5 ピンキーボードポートを備えていること。

AT PS/2 変換アダプタは付属しておりませんので、別にご購入ください。

### ケーブル

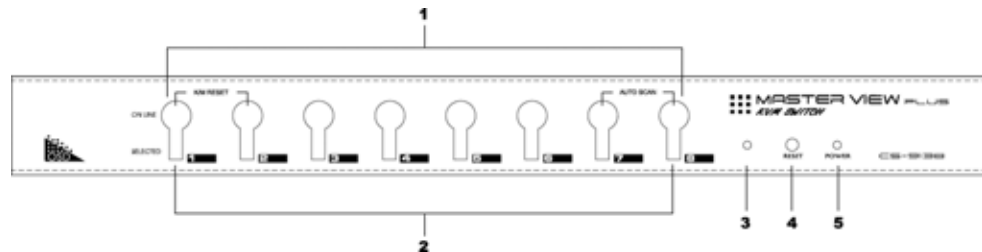
最適な状況で信号を転送し、すっきりとしたケーブルレイアウトが可能な下記の CS シリーズオリジナルのハイクオリティなケーブルセットをご使用になられることを推奨いたします：

2L 1001P/C (1.8m) \ 2L 1003 P/C (3m)

- ご注意：**
- これらのケーブルは PS/2 スタイルのキーボードのコネクタです。もしお持ちのパソコンが AT スタイルのキーボードソケットしかないときは、別売りのキーボードアダプタを使用の上、パソコンのキーボードポートに差し込んでください。(弊社のアダプタの品番は 2A 106)
  - お持ちのパソコンが 9 ピンのシリアルポートのマウスソケットしかないときは、別売りのマウスアダプタを使用の上、パソコンのシリアルポートに差し込んでください。(弊社のアダプタの品番は 2A 105 ; ただしこれに関しては市販のアダプタでは作動しないときもあります。)
  - 配線とピンの割り当てのために、シリアル PS/2 アダプタを先端に付けて CS-9138 に差し込み使用することはできません。ケーブルの両サイドの先端にアダプタを付け、市販のシリアル延長ケーブルを使用しての使用はできません。

## はじめに

### フロントパネル



#### 1.ポート LED

ポート LED はポートセレクトスイッチにあります。上の LED はオンライン LED で、下の LED はセレクトポート LED です：

**オンライン：**オレンジの LED ランプが点灯して、接続されているパソコンで電源がオンになっているものを示します。もし LED ランプが点滅している場合は、他のマスタービュー-KVM スイッチにカスケードされて使用されていることを示します。（但し、キーボードがウェイクアップ・パワーオフ機能等を使用しているときは、常時点灯します。）

**セレクト：**グリーンの LED ランプが点灯して現在選択しているポートを示すランプです。LED ランプが点灯している場合は、通常の場合で、LED ランプが点滅している場合は、アクセスしているポートがオートスキャンモードになっていることを示しています。

#### 2.ポートセレクトスイッチ

電源がオンになっている接続されているパソコンを選択することができるスイッチです。

1 と 2 のボタンを同時に 3 秒以上押すことにより、キーボードおよびマウスをリセットします。

7 と 8 のボタンを同時に押すと、オートスキャンモードが始まります。

#### 3.システムサウンド

システムサウンドはここから発せられます。

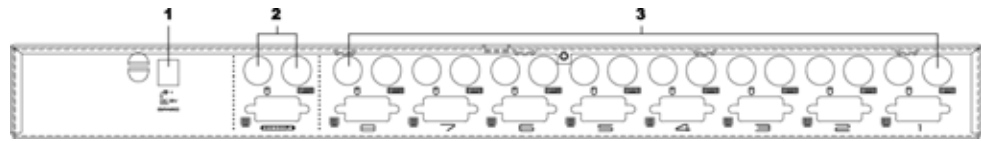
#### 4.リセット

先の尖った物（例えば、ペーパークリップの先、ボールペンの先等）でこの凹んだスイッチを押してウォームブートリセットをしてください。もし 3 秒以上このスイッチを押し続けると、コールドブートリセットになります。

#### 5.パワーLED

マスタービューCS-9138 の電源がオンの時は、LED ランプが点灯しています。

## リアパネル



### 1. パワージャック

本製品は外部電源不要でデザインされています。電源は接続されたパソコンから供給されるようになっています。一般的に言って、外部パワーが必要になるのは、カスケード接続で使用時またはパソコンからの電源がユニットに十分に供給されず操作が不安定になっているときです。もし外部電源をご使用になられる場合は、ACアダプタのケーブルをここに接続してください。

### 2. コンソールポート側

もし本製品が1段階のユニットの場合は、モニター、キーボード、マウスのプラグはここに差し込んでください。

もし本製品がカスケード接続のユニットの場合は、上段階のマスタービューユニットのケーブルプラグをここに差し込んでください。

### 3. CPUポート側

接続するパソコンからのプラグをここに差し込んでください。

## 本製品の導入手順

### 導入する前に



1. 接続を開始する前に、必ず、すべての接続するデバイスの電源がオフになっていることを確認してください。キーボードに電源オンになる機能を持つパソコンの場合は、電源コードをすべて抜いてください。
2. 本製品を導入される前に、パソコンやデバイスのダメージを防ぐために、すべてのデバイスが正しくインストールされているかどうかご確認ください。もし必要なときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

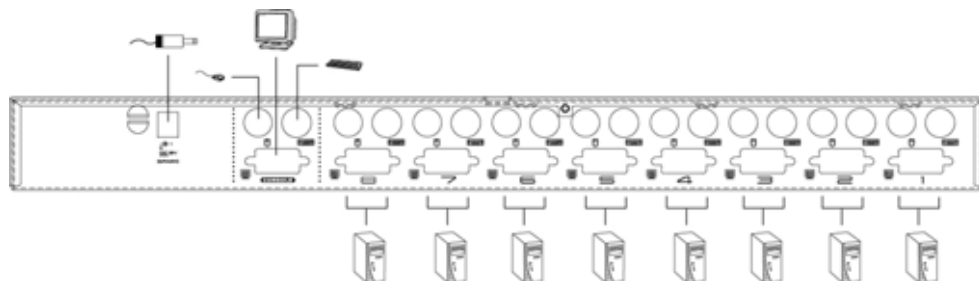
### 1台（カスケードなし）での導入

1段階での導入では、ユニットが単体で使用されています。1台での導入は以下のように行ってください：

1. ユニットのコンソールポートにキーボード、マウス、モニターのコネクタを差し込んでください。
2. 1台での導入では、パソコンはすべてのマスタービューのCPUポートに接続できます（1～8）。接続ケーブルセットを使用して（ケーブルセクションのP.3を参照）CS-9138の接続可能なCPUポートにキーボード、マウス、モニターをそれぞれ接続してください。
3. もし外部電源を使用される場合は、マスタービューパワージャックにACアダプタのケーブルを差し込んでから、ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込んでください。



外部パワーなしで操作しているときは、ユニットの電源はキーボードとマウスケーブルを通して供給されます。もしパソコンがキーボードとマウスから5Vに足りなく、3.3Vの電源しか供給されないときは（例えばノートブックパソコンの場合）、ユニットの電源は十分でなく、外部パワー供給が必要になります。



4. パソコンの電源をオンにしてください。

**ご注意：**もし外部パワーを使用になるなら、ユニットはパソコンの電源をオンにする前に、外部電源の供給ができるように接続してから、パソコンの電源をオンにしてください。

## 2 段階（カスケード接続）での導入

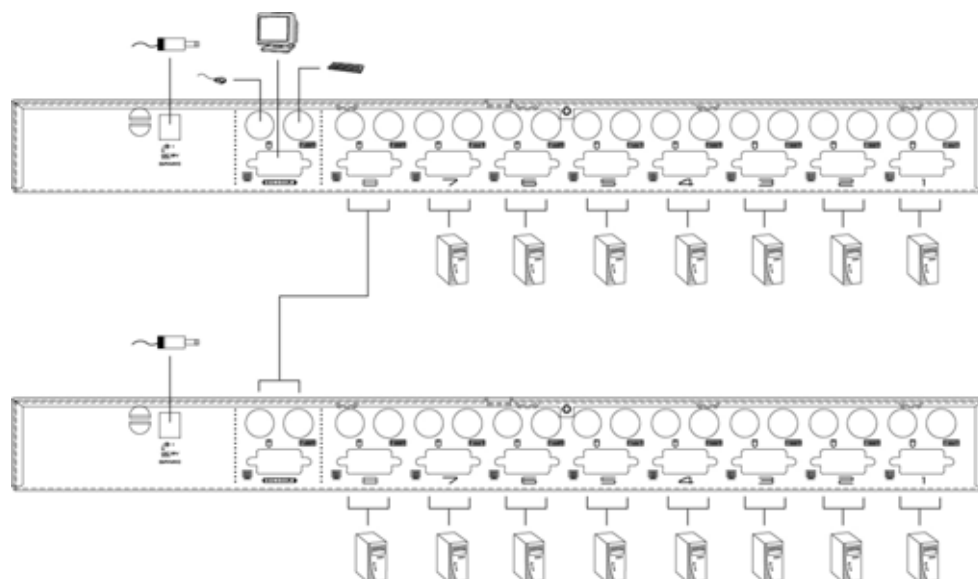
8 台のマスタービュー CS-9138 ユニットの 1 台目のユニットの CPU ポートにカスケード接続して、更に複数のパソコンをコントロールすることができます。2 段階のカスケード接続をすべて接続すれば、64 台までのパソコンまでをコントロールすることができます。付録のページの表をご覧ください。パソコンの台数とマスタービューユニットがコントロール可能なパソコンの台数の関係がおわかりになると思います。

**ご注意：**異なったマスタービューの機種を用いてカスケード接続をされるとホットキーや OSD による CPU ポート切換え時に問題が起きます。ユニットをカスケード接続してご使用になる場合は、CS-9138 の同機種で使用されることを強く推奨いたします。

2 段階のカスケード接続の導入は以下のようです：

1. 接続を開始する前に、必ず、すべての接続するデバイスの電源がオフになっていることを確認してください。（もし 1 台目のユニットが AC アダプタを接続している場合は、1 台目のユニットもプラグを抜いてください。）
2. 接続ケーブルセットを使用して（ケーブルセクションの P.3 を参照）、1 台目のユニットの接続可能な CPU ポートに 2 段階目のユニットのコンソールポートを接続します。
3. 接続ケーブルセットを使用して（ケーブルセクションの P.3 を参照）、2 段階目のユニットの接続可能な CPU ポートに導入したいパソコンのキーボード、マウス、モニターのコネクタを接続してください。
4. 2 段階目の接続したいユニットにステップ 1 ~ 3 を繰り返して行ってください。
5. それぞれの 2 段階目のユニットにマスタービューのパワージャックに AC アダプタのコネクタを接続してから、AC アダプタを電源のコンセントに差し込んでください。
6. 1 台目のマスタービューユニットの AC アダプタを差し込んでください。
7. すべてのパソコンの電源をオンにしてください。

**ご注意：**電源をオンにする順序は、最初に 2 段階目のユニットの電源を先にオンにします。2 段階目のユニットの電源がすべてオンになってから、1 台目のユニットの電源をオンしなければなりません。更に、2 段階目と 1 台目のユニットがオンになってから、パソコンの電源はオンにします。



### 3 段階（カスケード接続）での導入

3 段階での導入は本質的には 2 段階での導入と同じセットアップ方法です。3 段階でのカスケード接続をすべて接続すれば、最大 512 台までのパソコンをコントロールすることができます。付録のページの表をご覧ください。パソコンの台数とマスタービューユニットがコントロール可能なパソコンの台数の関係がおわかりになると思います。

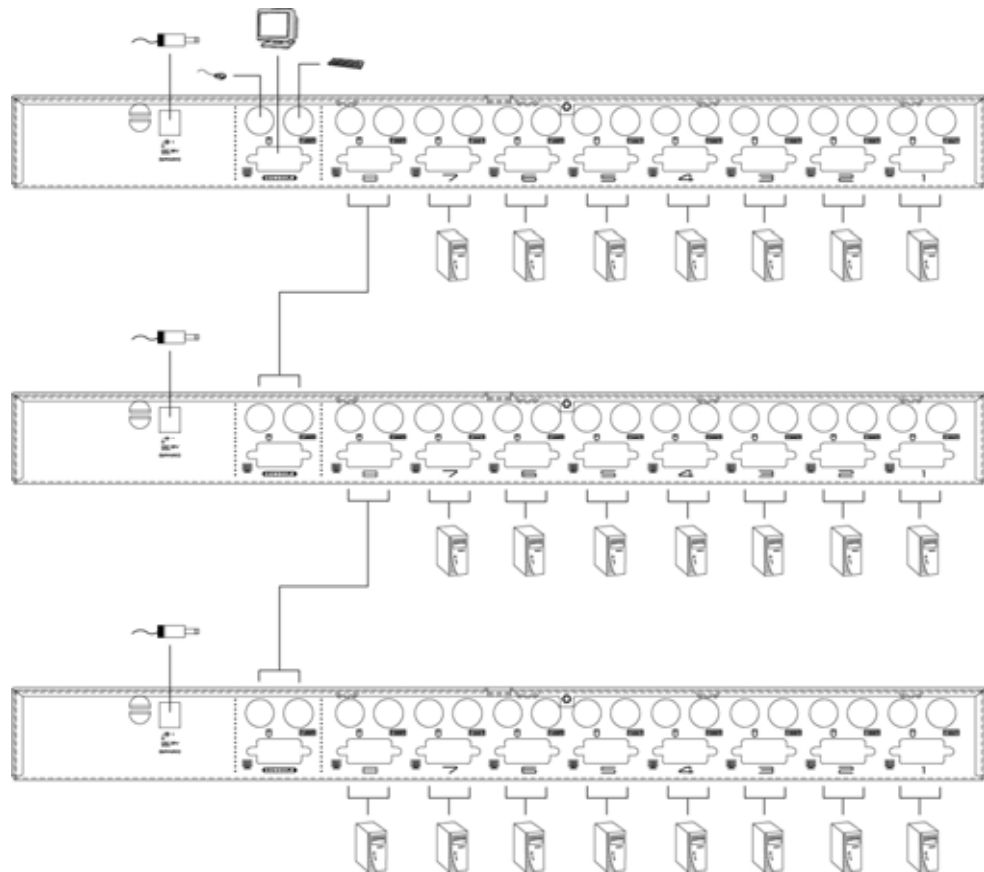
**ご注意：**マスタービューユニットは 3 段階のカスケード接続までしかできません。

3 段階でのカスケード接続の導入は、以下のようです：

1. 接続を開始する前に、必ず、すべての接続するデバイスの電源がオフになっていることを確認してください（1 台目と 2 段階目のユニットのプラグをすべて抜いてください）。
2. 接続ケーブルセットを使用して（ケーブルセクションの P.3 を参照）、2 段階目のユニットの接続可能な CPU ポートに 3 段階目のユニットのコンソールポートを接続してください。
3. 接続ケーブルセットを使用して（ケーブルセクションの P.3 を参照）、3 段階目のユニットの接続可能な CPU ポートに導入したいパソコンのキーボード、マウス、モニターのコネクタを接続してください（P.9 の図を参照）。

- 3段階目の接続したいユニットにステップ1～3を繰り返して行ってください。
- それぞれの3段階目のユニットにマスタービューのパワージャックにACアダプタのコネクタを接続してから、ACアダプタを電源のコンセントに差し込んでください。
- 2段階目のすべてのマスタービューユニットのACアダプタを差し込んでください。
- 1台目のマスタービューユニットのACアダプタを差し込んでください。
- 必要なパソコンの電源をオンにしてください。

**ご注意：**電源をオンにする順序は、最初に3段階目のユニットの電源を先にオンにします。3段階目のユニットの電源がすべてオンになってから、2段階目のユニットの電源をオンしなければなりません。更に、2段階目のユニットがすべてオンになってから、1台目のユニットの電源をオンにしなければなりません。そしてすべてのマスタービューの電源がオンになってから、パソコンの電源はオンにします。



## 操作方法

### ホットプラグ

マスタービューCS-9138 はホットプラグに対応しています。そこでコンポーネントの取外しや追加が、ユニットの電源をオフする必要がなく、CPU ポートからケーブルを抜き差しするだけで可能です。ホットプラグを正しく作動させるには、下記のような順序で行ってください。

#### CPU ポートのホットプラグ：

CPU ポートからケーブルをホットプラグするとき：

1. ケーブルを抜いたその同じポートにケーブルをまた差し込まなければならない。
2. マウスケーブルはキーボードケーブルより先に差し込まなければならない。
3. ケーブルをもう一度差し込んだ後で、1 台目のユニットの KVM リセットをしなければならない (Reset スイッチを押してください)。

#### コンソールポートのホットプラグ

ユニットはキーボード、モニター、マウスのホットプラグに対応しています。マスタービューコンソールマウスポートからマウスを差し込むときは：

1. マウスのプラグを抜いて、もう一度同じマウスのプラグを差し込むと (例えば、マウスをリセットします) すぐ同じマウスを使用できます。
2. もし異なったマウスを差し込むと、すべてのマスタービュー、すべての接続されたパソコンを 10 秒間シャットダウンしてから、再起動しなければなりません (必要な場合は、P.9 の電源をオンにする順序を参照)。

**ご注意：**ホットプラグの後で (または他の場合でも) 接続されているマウスもしくはキーボードが反応しなくなったときは、1 台目ユニットのポートセレクトボタンの 1 と 2 を同時に 3 秒間押して、キーボードとマウスのリセットを行ってください。

## 電源オン/オフ

マスタービューユニットの 1 台の電源をオフにする必要があるなら、以下の手順に従ってください：

1. ユニットに接続されたすべてのパソコンの電源をオフにして、それからカスケード接続されているすべてのユニットやパソコンも電源をオフにします(すべての接続されているユニットとそれらに接続されているすべてのパソコンを含みます)。

**ご注意:** 1. 電源をオフにしたスイッチに接続されたパソコンにキーボードパワーオン機能が付いているなら、そのパソコンの電源コードも抜かなければなりません。けれども、スイッチはまだパソコンから電源を供給されています。

2. ユニットが外部電源で操作されているのなら、パワーアダプタケーブルも抜かなければなりません。

2. 10 秒待ってから、マスタービューCS-9138 のカスケード接続された最後の段階のユニットからプラグを差し込み始めます。電源をオフにしたときと同じ順序で電源をオンにしていきます。

3. すべてのマスタービューユニットの電源がオンになった後で、接続された最後の段階のパソコンから電源をオンにしていきます。電源をオフにしたときと同じ順序で電源をオンにしていきます。

## ポートセレクト

マスタービューCS-9138 は導入したすべてのパソコンに3つの方法で簡単に切替える方法があります：手動；ホットキー；OSD

### 手動切換え

マスタービューのフロントパネルにあるポートセレクトスイッチを押して切換えます。スイッチを押した後、セレクトスイッチのLEDが点灯して切換わったCPUが表示されます。OSD ( P.15 を参照 ) は自動的に選択したパソコンにハイライトが切換わります。

**ご注意：**1.カスケード接続が導入されているときは、切換えたいパソコンに直接接続されているマスタービューユニットにポートセレクトスイッチを切換えなければなりません。

2.1 台目ユニットのポートセレクトスイッチの7と8を同時に押すと、OSD のF4 QV機能( P.19を参照 )でクイックビュースキャンにより、選択されているポートのクイックビュースキャンが循環して始まります。それぞれのポートに費やす時間は、OSD の F6SET 機能で設定されたスキャン時間によります ( P.20 を参照 )。

### ホットキーナビゲーション

ホットキーナビゲーションは、手動でポートセレクトスイッチを選択することなく、キーボードから直接どのパソコンにでも切換えることができます。ホットキーによるポート選択の方法は以下のとおりです：

- 1.キーボードの同じ側の [ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] でホットキー機能をスタートできます。
- 2.10 キー以外の数字キーからポート ID 番号を打ち込んで ( ポート ID 番号についてはこの後のポート ID 番号についてのセクションを参照 ) [ Enter ] を押します。

**ご注意：**1.連続してキーを押してください。最初に[ Ctrl ][ Alt ]それから[ Shift ] と押してください。

2. [ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] の組み合わせでホットキー機能をスタートした後で、ポート ID 番号、[ Enter ] をそれぞれ1秒間隔以内でキーインしてください。

### OSD

OSD ( オンスクリーンディスプレイ ) はユニットに接続されたパソコンの切換えが、順序を追って取り扱えるようにできるインターフェイスメニューです。OSD 操作はこの後の P.15 で詳しく説明しています。

## ポート ID 番号について

### ID 番号の見方

マスタービューで導入されたそれぞれの CPU ポートはポート ID 番号が決められています。ホットキー選択あるいは OSD メインメニューのどちらの方法でも、接続されたパソコンの CPU ポートのポート ID 番号で、どの段階に導入されたパソコンにでも直接切換えることができます。

ポート ID 番号は最大 3 桁の数字でパソコンが接続されているマスタービューユニットの CPU ポート番号と段階のレベルを表しています。最初の数字は最初の段階のユニット CPU ポート番号を意味しています。2 番目の数字は 2 番目の段階のユニット CPU ポート番号を意味しています。3 番目の数字は 3 番目の段階のユニット CPU ポート番号を意味しています。

例えば、最初の段階のユニットに接続されたパソコンは一桁のポート ID 番号があり（1～8）パソコンに接続された CPU ポート番号と同じです。

2 段階目に接続されたパソコンは二桁のポート ID 番号があります。最初の数字は CPU ポートの数字を意味していて、2 番目の数字はその最初のユニットの後ろにつながれた 2 番目の段階のユニットに接続されたパソコンの CPU ポートを意味しています。それは、例えばポート ID 番号が 23 ならば、最初の段階のユニットで CPU ポート 2 の後ろにつながれ、2 段階目のユニットで CPU ポート 3 に接続されたパソコンとすることを表しています。

同様に、3 段階目のユニットに接続されたパソコンは三桁のポート ID 番号があります。例えば、ポート ID が 241 ならば、3 段階目のユニットの CPU ポート 1 に接続され、2 段階目のユニットの CPU ポート 4 につながれた、最初の段階のユニットでは CPU ポート 2 に接続されたパソコンを表しています。

## ポートキーの例

- 1.ユニットが1台のみの導入で、ポート3に接続されたパソコンに切換えるとき、ポート ID 番号の3を以下のように打ち込みます：

[ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] 3 [ Enter ]

- 2.最初の段階のユニットではポート2に接続され、2段階目ではポート3にカスケード接続されたパソコンに切換えるとき、ポート ID の23を以下のように打ち込みます：

[ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] 23 [ Enter ]

**ご注意：**番号を打ち込むときは一度に続けて打ち込んでください。

- 3.最初の段階のユニットではポート2にカスケード接続され、2番目の段階ではポート4にカスケードされ、3番目の段階ではポート1に接続されたパソコンに切換えるとき、ポート ID の241を以下のように打ち込みます：

[ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] 241 [ Enter ]

## ホットキーリスト

組み合わせ	結果
[ Ctrl ] + [ Ctrl ]	OSD スタート ( 初期設定 )
[ Scroll Lock ] + [ Scroll Lock ]	OSD スタート ( 変更可能 )
[ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] [ ポート ID ] [ Enter ]	ポート ID 番号に一致したパソコンに切換わる ( 上記例を参照 )
[ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] [ 0 ] [ Enter ]	オートスキャンモードがスタート

## OSD の使い方

### OSD の概要

OSD( オンスクリーンディスプレイ )はユニットに接続されたパソコンの切換えが、順序を追って取り扱えるようにできるインターフェイスメニューです。ホットキー切換えがまだ作動していても、OSD を使用できることは、大変便利な方法です。特に、大きなシステムでカスケード接続を取り入れている場合などは、どのポートにどのパソコンが接続されているかを憶えておくのはとても難しいことだからです。

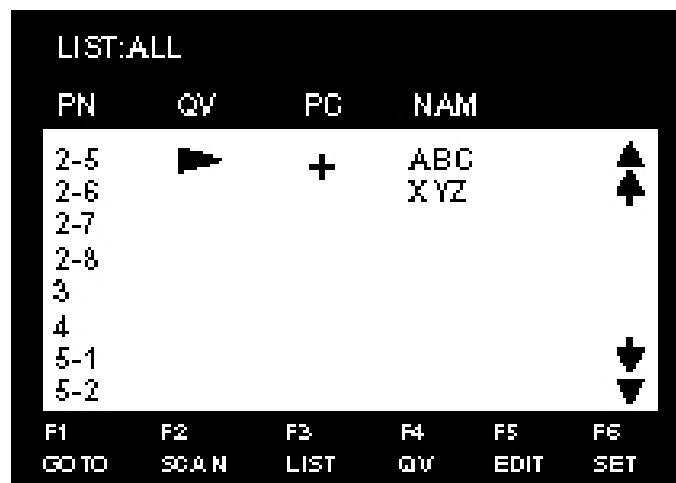
\*OSD の注意: コンソールに出力するパソコンを切換えたときに CRT が VGA 出力周波数に自動切換えの為に画面が割れることがあります。

すべての操作は OSD のメインメニューからスタートします。メインメニューを表示させるには、同じ側の **Ctrl** キーを 2 回押します。

**ご注意:** 1. キーは同じ側のキーを押さなくてはなりません(例えば、2 回とも右側または 2 回とも左側)。

2. 任意に Scroll Lock キーにホットキーを変えることもでき( P.20 の F6 ファンクションキー設定で OSD ホットキーを作動させる項を参照) その場合は、[ Scroll Lock ] キーを 2 回押してください。

OSD をスタートすると、下記と同様な画面が表示されます:



PN	QV	PC	NAM
2-5	■	+	ABC
2-6			XYZ
2-7			
2-8			
3			
4			
5-1			
5-2			

F1 GO TO    F2 SCAN    F3 LIST    F4 QV    F5 EDIT    F6 SET

OSD は常に最後に閉じた同じポジションにハイライトバーがついたリストから表示されます。

次の 2 つのセクションでは、どのように OSD とホットキーを使用するかを説明していきます。

## OSD ナビゲーション

[ Esc ] キーは現在の選択をキャンセルするか、または現在のメニューから出て 1 つ上のレベルのメニューに戻ります。もしメニューの一番高いレベルなら、OSD を閉じます。

キーボードの上・下の矢印キーを使用して上・下の三角のマーク ( ) を移動し、一度に 1 つのスクリーンのリストを上下に移動することができます。

キーボードの [ Page Up ]・[ Page Down ] キーを使用するか、一度に 1 つのスクリーンのリストを上下に移動することができます。

ハイライトバーを移動してアクティブなポートを選択し [ Enter ] キーを押すと、アクティブなポートに切替わります。

どんなアクションでも実行した後は、自動的に 1 つ上のレベルにメニューは戻ります。

## OSD ホットキーナビゲーション

ホットキーナビゲーションは、OSD モードの下で以下のように使用することもできます：

1. OSD のメインメニューから [ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] キーを押します。
2. 切替えたいパソコンのポート ID 番号を入力して ( P.13 のポート ID 番号のセクションを参照 ) それから [ Enter ] キーを押してください。

コンソールは選択したパソコンをコントロールしていて、OSD は自動的に閉じられます。

この方法を使用するときは、以下のことに注意してください：

選択したポートに切替わりアクセスしても、OSD スクリーン上のハイライトバーは移動しません。

[ Ctrl ] [ Alt ] [ Shift ] キーは同時ではなく、1 つ 1 つ順番に、押さなければなりません。

[ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] キーの組み合わせを押した後で、ポート ID 番号と [ Enter ] キーをそれぞれ 1 秒以内の間隔で押さなければなりません。

キーは一度に 1 つずつのキーを押して、離さなければならない。

ナンバーキーはテンキーからではなく、数字キーを押してください。

もし間違ったポート ID 番号を押したら、エラーメッセージが表示され、OSD のメインメニューに戻らなければなりません。

## OSD メインメニュー見出し

見出し	説明
PN	この数字の列は接続されたすべての CPU ポートのポート ID 番号（ステーション番号：ポート番号）をリストにしたものです。一番簡単に指定したパソコンに切換える方法は、ハイライトバーを切換えたいパソコンに移動し、[ Enter ] キーを押します。
QV	もしポートが既にクイックビュースキャンで選択されているなら（以下の F2 と F4 の説明を参照）、三角のマークがこの列に表示されています。
PC	電源がオンでオンラインのすべてのパソコンが表示されています。
NAME	もしポートに名前が付けてあるなら（以下の F5 の説明を参照）、この列に名前が表示されます。

### ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、OSD を構成し、コントロールするのに使用されているサブメニューを呼び出せます。例えば、速やかにポートを切換える；選択したポートのみスキャンする；見たいリストだけに制限する；クイックビュースキャンのポートを指示する；ポートの名前を作成または編集する；OSD 設定を調節することができます。

#### F1 Go To :

Go To は以下のような二通りの方法のどちらかで直接切換えるポートを選択することができます：

1. 切換えたいポートにハイライトバーを移動して [ Enter ] キーを押します。
2. ポート ID 番号または名前を入力して、それから [ Enter ] キーを押します。

**ご注意：**Go To は名前を打ち込むと同時に可能な選択のリストを制限する特別な特長があります。例えば、最初の文字を a と入力したとしたら、リストはポートの中で名前が a から始まるものしか表示しません。もし次の文字が b だとしたら、ポートの名前が ab で始まるものしか表示しません。

選択をしないで OSD のメインメニューに戻るには、[ Esc ] キーを押してください。

### F2 Scan :

[ F2 ] キーを押すとリストビュー（下記の F3 を参照）にある現在選択したすべてのポートを OSD は繰り返さずとクイックビュースキャンを始め、F6 セットファンクション( P.20 を参照 )の下で、スキャン時間の設定で設定した時間の間、それぞれのポートを表示します。スキャンをストップしたいときは、[ Space バー ] キーを押してストップしてください。

- ご注意：1.もし空いているポートでスキャンがストップしたら、または接続しているパソコンで電源がオフのポートにストップしたら、モニターのスクリーンはブランクになり、マウスとキーボードは使用不可になります。元の状態に戻すには、接続されたアクティブなパソコンのポート ID の数字( P.16 の OSD ホットキー操作を参照 )を入力してください。
- 2.それぞれのパソコンは切換えると、ポート ID 番号の前に s マークが表示され、それはクイックビュースキャンモードの下でアクセスしたことを示しています。

### F3 List :

このファンクションキーは OSD リストのポートの範囲を拡大または制限させます。サブメニューの選択と意味は以下の表のようになります。

選択	意味
ALL	接続されたすべてのポートのポート ID 番号と名前（もし特別な名前を付けていたとしたら - F5 を参照）のリスト
QVIEW	クイックビュースキャン( F4 を参照 )を選択しているポートのリストのみ
POWERED ON + QVIEW	クイックビュースキャン( F4 を参照 )を選択しているポートでまたパソコンが電源オンのリストのみ
QVIEW + NAME	クイックビュースキャン( F4 を参照 )を選択しているポートでまた名前( F5 を参照 )が付けられているリストのみ
NAME	名前( F5 を参照 )が付けられているポートのリストのみ
POWERED ON	接続されたパソコンの電源がオン( キーボードウェイクアップ機能含む )のポートのリストのみ

選択したいポートにハイライトバーを移動して、それから [ Enter ] キーを押してください。選択する前にアイコンが現われ、現在選択したポートを示しています。

**ご注意：**1.ナビゲーションキーを使用すると、どのリストのどのポートにも切換えることができ、それから [ Enter ] キーを押してください。

2.もし選択したポートにパソコンが接続されていなかったら、あるいは接続されたパソコンが電源オフだったら、それでも OSD はそのポートに切換わり、エラーは表示されません。

#### **F4 QV :**

QV はクイックビュースキャン機能 ( 前のページの F2 参照 ) の下で自動的にスキャンしているポートも含み、どのポートでも選択することができます。[ F4 ] キーは切換えキーです。ポートを選択したり、しなかったりするには、ハイライトバーを移動して、それから [ F4 ] キーを押します。

ポートが既にクイックビュースキャンに選択されているときは、三角のマークが QV の欄に表示されています。ポートが選択されていないときは、三角のマークは表示されていません。

#### **F5 Edit :**

どのポートにどのパソコンが接続されているか忘れないようにする便利な機能に、どのポートにも名前が付けられることがあります。Edit の機能は、名前を作成したり、修正したり、または削除したりすることができます。ポートが選択されていないときは、三角のマークは表示されていません。ポートの名前を編集するには :

1. 編集したいポートにまでハイライトバーを移動します。
2. [ F5 ] を押します。
3. 新しいポートの名前を入力するか、または古い名前を修正/削除します。  
ポートの名前に使用できる文字数の最大数は、15 文字までです。  
適している文字は以下のものです :

すべてのアルファベット : a - z ; A - Z

すべての数字 : 0 - 9

+ , - , / , : , . , スペース

OSD はポートの名前をどのように入力しても大文字にしか表示できません。

4. 編集が終了したら、[ Enter ] キーを押して、変更を有効にするか、または変更を無効にするなら、[ Esc ] キーを押してください。

## F6 Set :

[ F6 ] キーを押すと、OSD の構成メニューを呼び出し、設定を変更することができます :

1. 選択したいポートにハイライトバーを移動して、それから [ Enter ] キーを押します。
2. 次に表示されたサブメニューに、選択したいポートにハイライトバーを移動して [ Enter ] キーを押します。

ポインタのアイコンは、現在選択されているのがどのポートであるかを示しています。選択についての説明は下記のリストのようになっています :

設定	機能
チャンネル表示モード (CHANNEL DISPLAY MODE)	どのようにポート ID 番号を選択して表示するか:ポート番号 + CPU の名前(PN + NAME) ; ポート番号のみ(PN) ; CPU の名前のみ ( NAME )
チャンネル表示時間 (CHANNEL DISPLAY DURATION)	ポート ID の番号を CPU のポートを変更してから、どのくらいの間表示するか 決めます : <b>3 秒 ; 常にオン</b>
チャンネル表示ポジション (CHANNEL DISPLAY POSITION)	スクリーン上のどの位置にポート ID を表示するか決めます。矢印、Page Up、Page Down、Home、End、5 ( Num Lock をオフにしたテンキー ) を使用して、ポート ID 表示の位置を移動して、[ Enter ] キーを押して位置を固定し設定のサブメニューに戻ります。
スキャン継続時間 (SCAN DURATION)	クイックビュースキャンモードで選択したポートに循環し、それぞれどのくらい表示するか決めます。オプションは : 3,5,10,15,20,30,40,60 秒
ホットキーでOSD をアクティブにする (OSD ACTIVATING HOTKEY)	OSD 機能をどのホットキーでアクティブにするかの選択です : [ Ctrl ] [ Ctrl ] または [ Scroll Lock ] [ Scroll Lock ] 初期設定では Ctrl キーの組み合わせになっていますが、この組み合わせではパソコンのプログラムの作動中にコンフリクトを起こす場合は、Scroll Lock キーのオプションを使用するように変更してください。

設定	機能
<b>パスワードの設定</b> <b>(SET PASSWORD)</b>	以下のことをコントロールするために、パスワードを設定することができます： Name List の消去；初期設定値を元に戻す；コンソールのロックまたはアンロック。 後出の OSD セキュリティ仕様のセクションにあるパスワードの設定で詳細をご覧ください。
<b>名前のリストを消去</b> <b>(CLEAR THE NAME LIST*)</b>	名前のリストからすべてのポートの名前を消去します。名前を消去するのを実行する前に、確認のメッセージが出ます。Y のキーを入力して [ Enter ] キーを押すと、名前のリストを消去します。名前を消去している間、消去していることを示すメッセージが表示されます。名前が消去された後、消去に成功したことを示す別のメッセージが表示されます。
<b>初期設定値を元に戻す</b> <b>(RESTORE DEFAULT VALUES)</b>	すべての設定をメモリーから消去し、ユニットを初期設定に戻します( P.22 を参照 )。初期設定に戻す前に、確認のメッセージが出ます。Y のキーを入力して [ Enter ] を押すと、初期設定に戻ります。設定を消去している間、消去していることを示すメッセージが表示されます。設定が消去された後、消去に成功したことを示す別のメッセージが表示されます。
<b>コンソールロック</b> <b>(LOCK CONSOLE*)</b>	コンソールをロックまたはアンロックします。コンソールをロックすると、現在選択されているモニターのスクリーンのみが表示されます。コンソールで情報を入力しようとしても何の効果もなく、コンソールまたは手動切換えスイッチを押しても他のポートに切換えようとしても切換えられなくなります。再度、パソコンにアクセスするにはコンソールのアンロックしか方法はありません。もし、パスワードが設定されているなら、コンソールロックまたはアンロックをするには、パスワードを入力しなければなりません。またもしパスワードが設定されていないなら、[ Enter ] キーを押すと、コンソールをロックまたはアンロックします。

\*もしパスワードが設定されているなら、この設定にアクセスできるようにするためにはパスワードの入力が必要です。OSD セキュリティのセクションにて詳細をご覧ください。

## メーカー初期設定

メーカーの初期設定は以下のようです：

設定	初期設定
表示持続時間 (Display Duration)	常にオン
表示モード (Display Mode)	ポート番号 + ポートの名前
スキャン継続時間 (Scan Duration)	3 秒間

## OSD セキュリティー

KVM スイッチを導入したシステムにアクセスすることを防ぐためには、OSD にはパスワードによるセキュリティの特長があります。もしパスワードが既に設定されているなら、OSD はユーザーがシステムにアクセスする前に、パスワードを入力することを要求します。パスワードの設定は以下のようです：

1. [ F6 ] キーを押して設定構成のメニュー画面を表示させます。
2. ハイライトバーをパスワードの設定(Set Password)まで移動して、[ Enter ] キーを押します。
3. 新しいパスワードを入力して、[ Enter ] キーを押します。  
パスワードは 8 文字までの長さで、文字と数字の組み合わせでなければなりません ( A Z , 0 9 ) 。
4. 新しいパスワードを正しいかどうか確認のため、もう一度入力して、[ Enter ] を押します。

もし 2 回のパスワードが同じだったら、新しいパスワードが承認され、画面に次のようなメッセージが表示されます：

SET PASSWORD OK

もしパスワードの入力が間違っていたら、画面に次のようなメッセージが表示されます：

PASSWORD NOT MATCH

その場合は最初からもう一度始めなければなりません。

**ご注意：**以前のパスワードを修正したり、削除したりするには、ステップ 1 と 2 のパスワード機能設定にアクセスして、Backspace キーか Delete キーを使用して、それぞれの文字または数字を消してください。

マスタービュー：パソコン接続リスト

以下のリストはマスタービューユニットの数字とコントロールしているパソコンの数字の関係を示しています：

MVs	パソコン	MVs	パソコン	MVs	パソコン	MVs	パソコン
1	8	20	134-141	39	267-274	58	400-407
2	8-15	21	141-148	40	274-281	59	407-414
3	15-22	22	148-155	41	281-288	60	414-421
4	22-29	23	155-162	42	288-295	61	421-428
5	29-36	24	162-169	43	295-302	62	428-435
6	36-43	25	169-176	44	302-309	63	435-442
7	43-50	26	176-183	45	309-316	64	442-449
8	50-57	27	183-190	46	316-323	65	449-456
9	57-64	28	190-197	47	323-330	66	456-463
10	64-71	29	197-204	48	330-337	67	463-470
11	71-78	30	204-211	49	337-344	68	470-477
12	78-85	31	211-218	50	344-351	69	477-484
13	85-92	32	218-225	51	351-358	70	484-491
14	92-99	33	225-232	52	358-365	71	491-498
15	99-106	34	232-239	53	365-372	72	498-505
16	106-113	35	239-246	54	372-379	73	505-512
17	113-120	36	246-253	55	379-386		
18	120-127	37	253-260	56	386-393		
19	127-134	38	260-267	57	393-400		

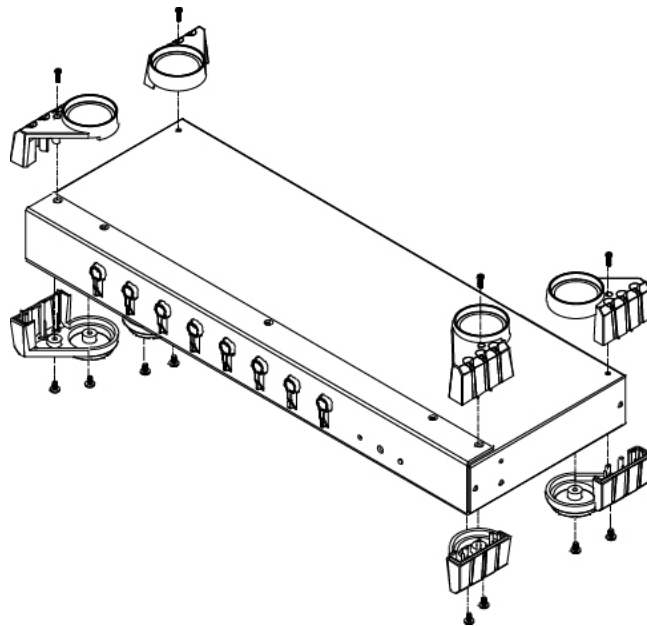
## スタッキングとラックマウント

### スタッキング（積み重ね）の方法：

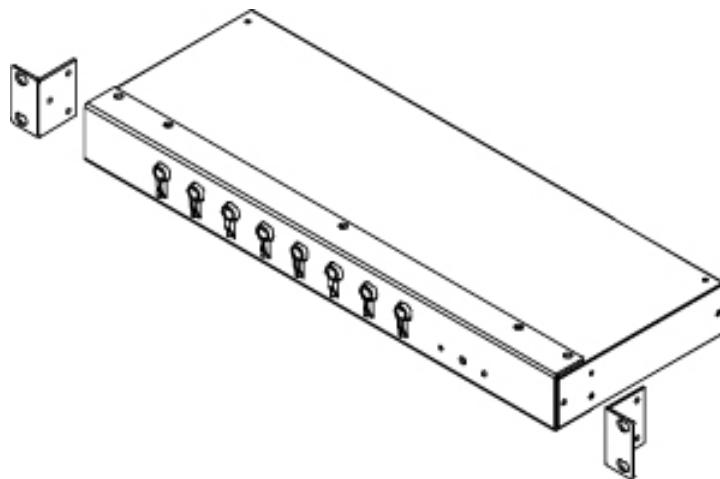
1. ユニットには購入時からプラスチックの台座が取り付けられています。上下それぞれ違うデザインの台座から成り立っているので、注意してください。上の台座は凸面の外見で、下の台座は凹面の外見です。
2. 上に置くユニットの下の台座は、下に置くユニットの上の台座に安定して置けるようになっています。

### ラックマウントの方法：

1. ラックマウントするには、まず始めにスタッキング用の台座をユニットから取り外さなくてはなりません。下記の図のようにユニットからネジを取り外してください：



2. ユニットのサイドに、マウント用の台座を下記の図のようにネジで取り付けてください。
3. ユニットのラックにスライドさせて入れ、ラックにネジで留めて固定します。



## トラブルシューティング

症状	原因	処置
動作が不安定な場合	ユニットがセルフパワーの操作のため、電力が不十分	ユニットに付属のパワーアダプタを外部電源として使用してください。
ホットキーを押しても、 反応がない場合	選択したポートからのターゲットパソコンへの接続が外れているか、またはパソコンがオフになっている	<p>選択したポートの LED 表示がオンライン表示になっているか確認します。もし、なっていない場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接続されたパワーオンのパソコンの 1 台に手動でセレクトスイッチを押します。</li> <li>2. ケーブルがすべて正しく接続されているかどうか確認してください。</li> </ol>
	対応していないキーボードのリセットが必要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 段階のユニットで 1 と 2 のボタンを同時に 3 秒間押し、キーボード (マウス) をリセットしてください。</li> <li>2. コンソールのキーボードポートからキーボードのコネクタを抜き、それからもう一度差し込んでください。</li> </ol>
	対応していないマスタービューのリセットが必要	<p>マスタービューユニットの電源をオフにして、再び電源をオンにする前に、5 秒間待ちます。</p> <p>P.11 の電源オフとオンのところを参照してください。</p>
	ポート ID の不正確な入力	<p>[ Ctrl ] + [ Alt ] + [ Shift ] キーの組み合わせでホットキー機能をスタートさせ、ポート ID を入力し、[ Enter ] キーを押し、それぞれのキーイン間隔は 1 秒以内で行ってください。</p>
マウスが反応しない場合	対応していないマウスのリセットが必要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 段階のユニットで同時に 1 と 2 のボタンを 3 秒間押し、マウス (キーボード) をリセットしてください。</li> <li>2. コンソールのマウスポートからマウスのコネクタを抜いて、それからもう一度差し込んでください。</li> </ol>

## 仕様

機能		仕様
パソコン接続数	ダイレクト接続	8台
	最大接続数	512台(カスケード接続)
ポート選択		フロントパネルスイッチ ホットキー オンスクリーンディスプレイ(OSD)
LED	パワー	1(ブルー)
	オンラインポート	8(グリーン)
	選択ポート	8(オレンジ)
コンソール用 コネクタ	キーボード用	ミニ DIN6 ピンメス(PS/2 スタイル)×1 コンソール側 ミニ DIN6 ピンメス(PS/2 スタイル)×8 CPU ポート側
	マウス用	ミニ DIN6 ピンメス(PS/2 スタイル)×1 コンソール側 ミニ DIN6 ピンメス(PS/2 スタイル)×8 CPU ポート側
	モニター用	ミニ D - sub15 ピンメス(std.VGA/SVGA)×1 コンソール側 ミニ D - sub15 ピンオス(std.VGA/SVGA)×8 CPU ポート側
スキャンインターバル(OSD 選択)		3、5、10、15、20、30、40、60 秒
電源仕様		DC9V ; 1.08W (最大)
稼働温度範囲		5 ~ 40
保存温度範囲		- 20 ~ 60
湿度		0 ~ 80%RH, 結露しないこと
ケース材質		メタル
重量		2,850 g
外形寸法		483 ( W ) × 150 ( D ) × 44.5 ( H ) mm ( 19 インチラック 1U )

## 連邦通信委員会のレポート

この KVM スイッチの装置をラジオやテレビの近くで使用されると、受信障害を引き起こすこともあります。この製品は FCC (米国連邦通信委員会) のパート 15 の規格に準じた、パソコンのデバイスとして使用することが可能な製品です。

この製品は商業環境で操作するときに、ラジオやテレビの受信障害に対して、適切な保護が得られるようにデザインされています。この製品の家庭環境内における操作にて引き起こされる受信障害に関しましては、ユーザーの方がご自分でそれに対処していただく必要があります(ラジオ、テレビから距離を十分に離して使用する、この製品のコンセントをラジオ、テレビと別に接続するなど)。

## 製品保証規定

製品保証書に明記した期間内に、マニュアルなどにしたがった正常な使用をしていたにも関わらずに、万一故障した場合は、お買い上げ販売店まで故障製品をお送りください。

ただし、保障期間内におきましても下記のような場合は、有償扱いとなりますのでご了承ください。

1. 本製品保証書の提示がない場合
2. 本製品保証書にお買い上げ販売店の記名及び捺印、お買い上げ年月日が無い場合
3. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障や損傷
4. 火災、または天災等などの外部要因により生じた故障や損傷
5. 本製品に接続されたほかの製品が原因で生じた故障や損傷
6. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障や損傷
7. 消耗品の交換
8. 本製品保証書の期限が過ぎたもの
9. 本製品保証書の所定事項未記入、または字句を不当に書き換えられた場合

製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。製品保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 製品保証書

この製品保証書は、製品保証規定に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。尚、本製品に付属のケーブルに関する保証期間は、3ヶ月間となりますので、ご了承ください。

切取線	
保証書	
型番	CS-9138
シリアルナンバー	
保証期間	(ご購入日) 年 月 日 より6ヶ月間
ご氏名	ふりがな
ご住所	〒 TEL : e-mail :
ご購入店	販売店名・住所・TEL

販売店様へ...お手数ですが 印の欄へ必ずご記入くださいますようお願いいたします。

保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印が無い場合は、有償扱いとなりますのでご了承ください。

ATEN INTERNATIONAL CO.,LTD.

<http://www.aten.com.tw/jp/>

尚、弊社でのお客様への直接のサポートは行っておりません。

故障・トラブル・ご質問等は、販売店を通じて行っております。